

## 個別ゼミ概要(WEB掲示用)

授業科目名	如水会寄附講義「如水ゼミ」		
ゼミ名	「商社(春・夏)」		
講師幹事名	町塚 栄介(まちづか えいすけ) 住友商事(株) ケーブルテレビ事業部 参事	大学教員	全学共通教育センター長 南 裕子
学期	2024年 春夏	開講時間	水曜 4～5時限

### 【過去の受講者の声】

- 今回の講義を通して、商社に対するぼんやりしたイメージを明確なものにすることができました。商社の歴史を学び、私が想像していたよりも歴史が古く、商社が担う役割を理解することができました。授業で挙げられた商社の本質として、「リスクを取る・マネージする」という部分が印象に残りました。この言葉から、商社はリスクを取ってチャレンジするだけでなく、リスク管理も様々な部署で行っていることが分かりました。また、各社の営業戦略の説明も興味深く感じました。どの分野が強いのか、大事にしている考え方や業績など各社によって違いがあり驚きました。
- 先生のおっしゃってた話の一つとして、新規で、社会貢献に携われる仕事ができるというのがとても魅力的に感じました。商社の資金力と色々なメーカーや工場、企業などとのつながりの強さから新しいビジネスを生み出すことができるのは商社の強みであり、やりがいを感じられると思いました。
- 今回は多くの一橋卒の先輩方に来ていただき、普段は聞くことができない細かなところまで貴重なお話を聞くことができました。特に印象的だったのは、どの先輩方も商社でやりたいことが明確にあって、実際に入社してからも自分のやりたかったことに積極的にチャレンジしていることでした。そして、一人ひとりがやられている事業は同じ会社でも全く違い、驚きました。商社の仕事は自分たちの生活に密接に関わっており、さらに興味を持つことができました。このような貴重な機会を用意して下さいましたことに感謝したいです。
- Dole やファミリーマートなど、身近な企業の商品開発に商社が深くかかわっているということをお聞きしてさらに業界への興味が深まりました。働き方改革についても、早朝出勤型への切り替えや早朝の軽食無料配布など、社員の方にしかお聞きできない実態も教えて頂けて大変ためになりました。商社＝海外勤務という印象が強かったのですが、食品流通業界に関してはあまり海外展開しづらいという点が意外でした。理由として、海外の流通フローと日本のフローが根本的に異なる、海外の企業との関係構築にも時間がかかるということが述べられていたのも印象に残っています。
- 脱炭素化への三菱商事の取り組みを、雑学から化学まで多様な知識と共に具体的に学ぶことができ、非常に勉強になりました。実務経験と深い教養が溢れる講師の方の講義は、これまでの講義の中で最も緊張感と学びがありました。一方で、講義後の食事で、気さくな態度で場を盛り上げてくださり、とても楽しい時間を過ごせました。
- 発表をした班一つ一つに対して、コメントしていただいていたので、そのおかげで明確で詳細なフィードバックを行うことができました。
- 講義全体を通して、講師の方の熱量を感じると共に、多くの学びを得た。これまでの講義とは異なり、質問など発言の機会や、考える時間が多く与えられ、住友商事の事例を自分なりに考えることができた。これまで曖昧だったトレーディング・事業投資・事業経営の違いを理解すると共に、具体例を用いたグループディスカッションを経て、シナジーや戦略ストーリーを考えたことで、実際のビジネスの複雑さを学べた。
- 実際に会社に訪問できたのは非常にいい経験になりました。如水ゼミを通して商社は様々な事業を手掛けており、社会貢献につながるやりがいのある仕事であることを再認識できました。ますます商社で働きたいと思える動機につながりました。約2か月間短い間でしたが、本当にいい経験ができました。このような機会を設けてくださり、ありがとうございました。